

# 一般質問

## 佐藤 久哉 議員

- ごみ処理対策について
- 津別町の交通対策について
- 産業振興について



### 議員

ごみ分別の優遇制度を  
考えてはどうか

### 町長

現時点では行う  
考えはない

### 佐藤議員

高齢者の方が、ごみの分別をする事が大変負担になってきている。高齢者の住みやすい町にするために80歳以上の高齢者で希望する方に対して、ごみを分別せずに出せる優遇制度を設けてはどうか。具体的には分別免除のシーを買ってもらい、回収したごみは埋めるごみとして扱う。優遇者の認定については、自治会長の協力をお願いしてはどうか。

### 町長

来年度より生活支援サポート制度が始まりますので、少し様子を見ていきたいと考えています。現時点で、特にごみの分別に優遇制度を設けることは考えていません。

### 議員

町民の「足の確保」  
対策はどうなったか

### 町長

問題解決のために  
アドバイザーの  
力を借りたい

### 佐藤議員

高齢者の方々が買い物や病院へ通う足の確保を行うことは、町にとっては重要課題であることは明白だと考える。町長は本年3月の定例会において、足の確保に関する質問に対して、市街地を廻る新たなバス2路線について考えていきたいと答弁した。その後の検討の進捗状況について伺いたい。

### 町長

我が町においては、乗り合いタクシーの運行、新しい車両の確保、国の補助制度の活用、利用者ニーズの把握などの問題があり時間がかかる状況です。そのため、来年度において、本町出身で総務省外部専門家に登録されている地域公共交通等国土交通省アドバイザーの方に依頼し、津別町の

あるべき交通網づくりを進めていきたいと考えています。

### 佐藤議員

対策をやってあげれば、お金がかかるが、必ずやらなければいけないことなので、これからの地域アドバイザーを迎えて行う検討会の中で、きちんと議論してもらいたい。それもあまり時間をかけないでやり始めて、できれば来年の冬には実証実験できるようなスピーディーな形で進めてほしいと思う。

### 町長

まずは、アドバイザーの方にぜひとも引き受けていただきたい。その費用につきましても、新年度予算に載せていきたいと考えています。



### 議員

「小規模企業振興条例」  
の制定はどうするか

### 町長

来年4月に  
制定したい

### 佐藤議員

現在、津別町商工会から「小規模企業振興条例」の制定に関して要望が出ていると聞いているが、町の今後の対応について伺いたい。

### 町長

平成30年4月1日の施行を目指しまして、現在、商工会に条例案を提示し協議を進めていますので、来年3月議会において、条例提案をしたいと考えています。

### 佐藤議員

この条例制定により、現時点で期限立法で制定されているさまざまな支援制度は延長になるのか。

### 町長

支援制度については引き続き継続していきたいと考えています。

# 一般質問

## 山内 彬 議員

○ 複合庁舎建設等まちなか再生基本計画について

## 村田 政義 議員

○ 空き家対策について



議員

J A及び北見信金の  
合築をどうするのか

町長

合築は難しいとの  
判断に至った

### 山内議員

まちづくり懇談会で、J A及び北見信金の複合庁舎合築の法的な問題を説明されたが、詳しい内容を伺いたい。

### 町長

地方自治法上の合築問題について、総務省行政課から「区分所有をするということは、共通部分もあるので事務的に難しく、できることはできるが勧められない」「土地を貸し付けすることは、営利の部分で疑義がある」という内容の回答がありました。

### 山内議員

合築は難しいとの判断だが、要請のあった相手方に明確な返事をすべきではないか。

### 町長

地方自治法上及びP F I法の問題で実施は難しいとの判断をし、J Aと北見信金に回答を行ったところです。

### 山内議員

隣接して建設することは可能かどうか伺いたい。

### 町長

どこに建てるかは相手方が検討するもので、仮に庁舎横に建設したい旨の話があれば、行政財産を普通財産に変更後売却、交換する案もあります。

### 山内議員

消防庁舎の改築は、平成36年以降になる説明を受けたが、役場庁舎と同様に重要な防災の拠点であるので、役場庁舎と合わせて進めていくべきではないか。

### 町長

まちなか再生10年計画では、平成36年から39年になっています。まちづくり懇談会で、消防庁舎の建設を急ぐべきとの意見が多く寄せられたことから建設を早めるべきと判断しているところです。



議員

老朽化し、倒壊の恐れがある  
危険な空き家への対策を

町長

法の規定に基づき  
必要な措置を講じる

### 村田議員

津別町全地域の空き家総件数と、倒壊の恐れのある件数について伺いたい。

### 建設課参事

調査対象522件のうち、調査できたのは482件、このうち倒壊の恐れがある空き家は16件、第三者に危害を与える可能性が認められる空き家は9件となっています。

### 村田議員

調査方法は、行政と委託業者以外に自治会への協力要請を含め、どのような方法で調査が行われたか伺いたい。

### 建設課参事

今回の調査は、役場と委託業者での調査ですが、空き家対策協議会の要請もあり、今後の調査においては、自治会と協力、連携しながら進めていく考えです。

### 村田議員

空き家の中には、老朽化が激しく、風や雪によってトタリが飛び散り、壁がはがれたり、景観を損なうだけでなく、防犯や火災にも影響を及ぼす危険な箇所もある。安全な環境を図る上でも、倒壊の恐れのある空き家に対し、法に基づき対策を講じる考えがあるのか伺いたい。

### 町長

第三者に危害を与える可能性のある空き家に対しては、平成27年に作られた「空き家対策特別措置法」に基づき、空き家対策協議会で策定計画を作り、それに基づき、指導・勧告・命令・代執行などを追って進め、必要な措置を講じていきたいと考えています。



# 一般質問

## 渡邊 直樹 議員

- 役場職員の消防団入団について
- 水道料金と基本水量の見直しについて



議員

役場職員の消防団入団を  
推奨できないか

町長

平成30年1月より募集の  
働きかけを行う

渡邊議員

消防団は、近年担い手不足や高齢化が深刻な問題となり、特に若い世代の団員確保が難しい状況である事から、役場職員の入団を推奨できないか。

町長

少子高齢化が進む中、消防団員の確保は、多くの自治体で問題となっています。大震災や局地的豪雨災害が頻発し、住民の生命財産を守る地域防衛の重要性が増してきて、国も「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を定めたところです。本町においても入団促進に向け内部検討を重ね、平成30年1月より職員に対し募集の働きかけを行うことにしています。

渡邊議員

働きかけの内容と募集にあたる町長の立場、考えは。

町長

募集の基本ルールは、一、40歳を上限とし主査職発令前の職員とする。二、必要な被服・報酬・費用弁償などは他の団員と同様にする。

町長

三、勤務中における各種行事・訓練・警戒出動については、職務に支障がない範囲での参加とする。

町長

四、災害時の出動については、勤務時間中の出勤命令の場合、職務に支障ない範囲とし、勤務時間外で町内にいる場合、災害対策本部設置の可能性がある場合は、役場職務を優先するとしています。

町長

職員も津別出身でない人が増えてきて、若い職員が入団することで、地域の交流が深まっていく関係をつくってほしい。

町長

親睦会や災害時以外の活動もお知らせし、新年の念頭のあいさつでも、啓発していきたい。

議員

「生活弱者への水道料金の減免」  
取り組む考えは

町長

新年度予算で決めたい、  
一般会計から繰り入れが必要

渡邊議員

10月26日に水道・下水道審議会より提出された答申には「基本水量の見直し」「生活弱者へ料金減免制度」が今後の課題にあげられているが、どう取り組む考えか。

町長

「基本水量の見直し」の答申では全体の収益状況を判断し、使用量で負担の格差が生じない改定を望むことから、料金改定はせず、水量も安定的経営が成り立つ時点で検討を図りたい。

町長

「生活弱者への減免」を実施している町村を参考に、新年度予算編成で決めていきたい。その部分の収入は入らないので、一般会計から繰り入れ措置が必要になると思います。

渡邊議員

業務用の水道料金は高く、段階別超過料金もないが、料

金設定の考え方を伺いたい。

町長

生活に必要な不可欠な家庭用と違い、営業活動に伴うもので、料金を高く設定していません。

渡邊議員

管内状況もさまざまであり、家庭用と一本化した町村もある。同じ営業活動使用の工業用では、使用水量ごと単価が下がる段階的設定があり反映させては。

町長

家庭用・業務用・工業用も全体で水道の運営、経営を見極め、数年後の工業用水切り替えを順調に進め、安定すれば転換期として営業用・家庭用もセットにして次回検討していきたい。





# 一般質問

## 高橋 剛 議員

- 地域おこし協力隊の現状と今後の課題について
- 日本語学校設立の検討について



議員

**町長** 地域おこし協力隊の定着率  
 上昇は重要ではないか  
 一層の制度活用とともに、隊員の  
 定住化に向けて応援したい

**高橋議員** 協力隊の定着率上昇は課題  
 であると思うが、見解は。

**町長** 移住支援制度として重要な  
 施策であると議員と同様に考  
 えています。

**高橋議員** 協力隊員へのフォロー体制  
 が十分ではないのではない  
 か、との声があるが、どう応  
 えるのか。

**町長** 直接関与が必要と判断され  
 ない場合は、自主性を尊重し  
 ています。曖昧な関与は混乱  
 を招くということで、改善を  
 行っています。

**高橋議員** 町民との相互理解を深める  
 ため、協力隊の成果を発表す  
 る場を設けてはどうか。

**町長**

お膳立てをするのではな  
 く、自主的に隊員が行うこと  
 の後押しをしていきたいと考  
 えています。

**高橋議員**

協力隊のみならず、移住者  
 も含めて、観光行政への提言  
 をしてもらってはどうか。

**町長**

観光行政だけでなく、一般  
 行政にも生かす提言をいただ  
 きたいと考えています。

地域おこし  
 協力隊  
 募集!



**高橋議員**

各自自治体が隊員を集めるの  
 に苦慮しているが、どのよう  
 に差別化を図り、隊員を確保  
 していくのか。

**町長**

必要とする隊員の能力や役  
 割を明確にして、募集要項な  
 どを工夫し、それを情報発信  
 すれば、津別を選んでもらえ  
 るのではと考えます。

**議員**

日本語学校を設立し  
 津別で学ぶ学生を  
 増やしてはどうか

**町長**

時期尚早。今すぐ検討  
 すべき課題ではない

**高橋議員**

道内には外国籍の方を積極  
 的に受け入れ、成果をだして  
 いる自治体がある。一方、問  
 題が表面化している自治体も  
 あるが、外国人の移住定住に  
 関する見解は。

**町長**

移住者が、たまたま外国人  
 であっても構いませんが、外  
 国人の移住定住に関して、積  
 極的な考えは持っています。

**高橋議員**

日本語学校を設立すれば、  
 多くのメリットがあると思う  
 が、考えはどうか。

**町長**

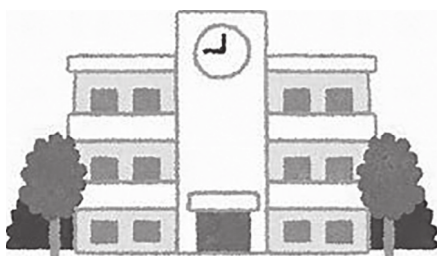
今検討すべき課題ではない  
 と考えますが、インバウンド  
 の取り込みや、移住者の受け  
 入れは、外国人を意識して検  
 討することも必要と考えま  
 す。

**高橋議員**

移住定住に関して、意気込  
 みなどがあれば伺いたい。

**町長**

学校のことは、認可など難  
 しい問題があり、慎重になら  
 ざるを得ないと思います。ま  
 た、外国人に住んでもらうと  
 なるインフラの整備も必要  
 になると考えます。さまざま  
 な変化を想定しながら、取り  
 組みを進めていきたいと思  
 います。



# 一般質問

## 小林 教行 議員

- コミュニティ・スクールの導入について
- 旧活汲小学校跡について



議員

### 小林議員

導入が努力義務になったコミュニティ・スクール、その検討状況と今後の進め方について伺いたい。



### 教育長

約9割の保護者が子育てに地域の支えが重要といった調査結果があります。

平成30年度の教育行政方針の中に導入についての検討を進めていく旨を盛り込みたいと考えているところですが、学校、地域の皆さんの負担が増すことも予想されますので、慎重に検討を進めていきます。

### 小林議員

地域の未来を担う子どもたちの成長は、地域の希望であり、地域住民が自主的に子どもたちの学びにかかわり、支えていくことが重要であると思うが考えを伺いたい。

## コミュニティ・スクール導入に 向けての検討状況は

### 教育長

地域とともにある学校づくりを  
力強く進めていきたい

### 教育長

「人は人を浴びて人になる」という言葉もあるように教員だけでなく、地域のさまざまな大人とのかかわり、多様な出会いが必要だと認識しています。

### 小林議員

地域と学校が子どもたちの教育に関わることを通じて、信頼関係を築いていき、教員一人一人が持っている力を高め発揮できる環境を整えていくことが重要であると思うが、考えを伺いたい。

### 教育長

中学校の部活指導に大きな時間を費やされるといった現状があり、部活動をサポートするといった例もあります。なるべく労力を少なく、子どもたちには最大の効果があるように地域の皆さんの英知を集めて特色ある学校づくりを検討しているところです。

### 小林議員

地域住民が、自分たちが当事者として、自分たちの力で学校や地域を作り上げていく、子どもたちのために学校をよくしたい、元気な地域をつくりたい、そのような思いが集まる学校にしてほしい。

### 教育長

津別らしい学校応援の仕組みを検討し、地域とともにある学校づくりを力強く、着実に進めていきたいと思えます。

## 議員

旧活汲小学校、拠点  
避難所としての機能は

## 町長

一遍にはできないが  
予算をつけながら  
整備していく

### 小林議員

活汲小学校の跡は災害時、活汲地区の避難場所として指定されているが、利用者との兼ね合いはどのようになっていくか伺いたい。

## 町長

実際に避難所として使用できるスペースは2階となります。

す。高齢者の対応として、校舎1階の一角を使用できるように了解を得ています。

### 小林議員

2階が閉校時のままである。今後2階をどう管理していくのか、防寒・備蓄はどうなっているか伺いたい。

## 町長

2階の思い出コーナーは、地域の方々の協力を得ながら保全する方法を考えていきます。また、拠点避難所につきましても、予算をつけながら必要なものを少しずつ備蓄していきたいと思っています。

### 小林議員

開校記念碑について、さわると壊れる程老朽化が進んでいる。町有地にある危険であると考えられるものに対しての考えを伺いたい。

## 町長

交通安全上、あるいは通行者に危険を及ぼすということになれば、それなりの対応をしなければいけないと思いません。

# 一般質問

篠原 眞稚子 議員

- ふるさと納税について
- エコタウンについて



議員

ふるさと納税の使い道は

知らせているか

町長

ホームページでお知らせしている

篠原議員

ふるさと納税は、平成20年に導入され、平成27年には「ふるさと納税ワンストップ特例制度」ができ、返礼品の魅力も重なるなど、全国では2844億円もの金額になっていす。当町でも昨年は1億円を超え、貴重な財源になっていると思います。選んだ理由など調査していますか。

また、使い道をどうお知らせしていますか。

町長

寄附をされた方に対してはアンケートを行っていただき、「津別にふるさとを感じている」2.9%、「津別町を訪れたことがある」9.5%、「北海道にふるさとを感じている」10.2%、「お礼の品が魅力的であるから」71.8%、「その他」5.6%となっています。

住民企画課長

ふるさと納税の使い道につ

きましては、一度基金に積み、翌年から使う形にし、納税者に対してはホームページを見てくださいと案内しています。



篠原議員

自治体が特定の目的のために資金を集めるガバメントクラウドファンディングについての考え方を伺います。

町長

多くの自治体を取り組んでいます。本場に必要などころにふるさと納税が使われていないのではと危惧する考えも出てきています。今後、津別町においては、先進事例を参考にしながら、津別町の魅力を発信することを基本に、ふるさと納税を活用した地域活性化を図っていきたいと考えています。

議員

エコタウンの取り組みは

どうなっているか

町長

環境基本計画に基づき進める

篠原議員

町政方針のサブタイトルであるロマンチックなエコタウンとは、どのようなものか伺います。

町長

老朽化した町の環境を再整備したいというものです。それと、それまで各団体、企業を取り組んだ地球にやさしいエコ活動があります。

篠原議員

日本で最も美しい村連合に加入することは、町のブランド価値を高めるのにいいと思います。どう考えますか。

町長

加入を目指しているつもりですが、いろんなことを進めていくには、まだまだ時間がかかるかと認識しています。

篠原議員

リサイクルとごみの減量に

ついて現状を伺います。

町長

平成24年の国の統計を見ますと、国民一人当たりのがごみの排出量というのが964g、道民一人当たりは1004g、津別町は804gで、全国平均からみても少ない状況です。リサイクル率については、全国が20.5%、北海道が23.6%、津別町は51.2%で、リサイクル率も高い状況です。

篠原議員

温暖化対策として進められていることを伺います。

町長

「津別町環境基本計画」や「津別町モデル地域創生プラン」を策定し、エネルギーの地産地消と経済活動により、雇用の創出を目指し、取り組みを進めているところです。





# 一般質問

## 乃村 吉春 議員

- 避難用道路の整備について
- 町民の健康づくりについて
- 組織機構について



### 議員

組織機構の見直しとグループ制の検討も必要ではないか

### 町長

係制にし「機構改革検討委員会」で検討する

### 乃村議員

2年前に、係長制度を設けてはとの質問をしたが、どのように検討したか。また、グループ制も改善など検討する必要があるのではないか。

### 町長

行政組織機構は、「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」の策定と並行して、5年から10年後を見通した機構のあり方、住民サービスを含めた「機構改革検討委員会」で検討を進めています。グループ内の担当の明確化と、係制への移行、係長を復活させる方向で検討していく考えです。

### 議員

共和第3の一部と第4は避難時に遠回りしなければならぬので道の整備を

### 町長

町道147号線を活用して避難を

### 乃村議員

高校に避難する際には遠回り、高齢者は時間がかかり命にも関わることもあるの、道路の整備をしてもらいたい。

### 町長

改良舗装には予算がかかり、農地として使われているところは、用地取得費と耕作者の同意も必要になるため、町道147号線の活用が現実的だと考えます。

### 乃村議員

冬は万が一のため、グラウンドや避難所の除雪をきちんとしてほしい。

### 町長

北朝鮮のミサイルのこともありますので、いつでも対応できるようにしておきたい。

### 議員

超高齢化時代を迎え高齢者が高齢者を支えることになるが

### 町長

健康教室や運動に特化したサロン事業などを行いたい

### 乃村議員

町民の健康づくり事業をすすめているが、超高齢化時代を迎えて、高齢者が高齢者を支え合う時代になり、より強く進める必要があると思う。また、元気な高齢者が多ければ手助け、ボランティアなどできると思う。

### 町長

「健康増進計画」を策定し、運動や食事、生活習慣の改善に向けた取り組みを進めています。介護予防、認知症予防の観点から健康教室、サロンの事業、来年度からDVDを利用した「いきいき百歳体操」を行う予定です。早いうちから運動を生活に取り入れ、転倒や骨折、認知機能低下の予防につなげ、健康維持や高齢者の支援、ボランティア活動にも参加してもらいたい。健康づくりや介護予防ポイント

事業、生活支援サポートなどで、身近な方による支え合いの体制作りに取り組みたい。

### 乃村議員

早期にサロン事業を実施している地区は、助成がなくなり自費で講師を頼むため、自己負担が増え、参加者が減っていると聞いたが。

### 町長

そのような報告は受けていませんが、以前はあったようです。4月からは2倍の助成を行っており、他の地区にも広げていきたいと考えています。講師についてもなるべく地域の方にお願いし、「いきいき百歳体操」のDVDも普及していきたい。

### 乃村議員

パークゴルフ場の高齢者割引をしているところがあるが検討できないか。

### 町長

美幌町、置戸町で実施している、大空町は、教育委員会所管の施設は全て無料です。平成31年の消費税改定に合わせ検討したい。

# 一般質問

## 巴 光政 議員

- 水道審議会の答申に対する考え方について
- 国保の広域化の中で保険料の軽減について



議員

町長

### 個別排水施設の使用料を なぜ20%も上げるのか

#### 維持管理費分は使用料で賄うべき

**巴議員**  
水道・下水道運営審議会の答申で、維持管理費の使用料負担割合の目標を100%に定め、平成29年度は30%上げる予定であった。しかし、使用者の理解が得られない点を考慮して20%としたとあるが、間違いないか伺いたい。

**町長**

個別使用料のみの改定となった理由ですが、下水道事業は使用料で賄えています。個別処理施設は、使用料割合が46%と低く、使用料で賄うべきとして、19年度に40%の値上げの予定を20%に、24年度には30%のところ12.5%、29年度は30%のところ、新たな目標値を65%とし、目標の2分の1の20%としたのでご理解願いたい。

**巴議員**

個別処理施設の利用家庭が一般下水道利用家庭と比較し

て、目的が同じ生活排水で2倍以上の料金差では、公共性を欠くと考える。なぜなら、活汲地区の農業集落排水から公共下水道に切り替わるが、一般下水道利用料金と同じ料金体系である。下水道管渠工事の物理的にできない地域に町が個別施設を設置したならば、利用料金は統一するのが本来の姿であると考えている。

**建設課参事**

下水道も基本的には、受益者分担金とか、施設費の一部を負担していただく仕組みになっています。莫大な費用に対し受益者の負担を考慮した選択であると感じています。

**巴議員**

浄化槽の設置は5人槽からしかないが、上水道使用に見合った少人数家庭の排水料金を考え、細分化してはどうか。

**町長**

維持管理は、浄化槽法で定められており、点検、清掃に係る費用の72%を賄う状況です。5人槽以下の使用料を安く抑えることは、収支状況から、難しいと考えています。

道内のある市では、生活保護世帯、70歳以上の単身世帯、市民税が非課税の世帯、母子家庭など個別の使用料が減免のところも有ると聞いており、次回の改定時に論議されるのではと思っています。

**議員**

### 国保の広域化で 保険料の値上がり が心配される

#### 町長 広域化でリスクは 軽減されると考える

**巴議員**

国保の広域化で、平成30年4月から都道府県化になるなか、企業、組合などの保険に比べ、国保料は大変高く、多くの国保加入者から下げてほしいとの願いがある。広域化になる中で、保険料の値上がりが心配されるが、軽減のための考えを伺いたい。

**町長**

来年2月に道から示される納付金の確定額と標準保険料率をもとに、医療費と所得の推計を行い、現行実施している軽減税額も勘案し、国保税の算定と税率を決定したいと考えています。なお、平成28年度と比較して、2%を超えて増える分を納付金の額から控除するとしています。

**巴議員**

基金について、国は安定的かつ十分な基金を積み立てるよう通知していると聞いているが、今後の対応について伺いたい。

**町長**

津別町の国保会計は、医療費水準の高さや高齢化などによる所得の低い加入者が多いため、毎年厳しい財政となっています。基金の繰り入れを行いながら運営していますが、基金残高はわずかになっていきます。制度移行後も将来の税収不足や医療費の増加などに備え、確保しておくのが望ましいと考えているところです。

